

各 位

平成 28 年 10 月 15 日
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



紅葉が始まった野草園内の「スワンヒルの庭」(前年の10月中旬撮影)

野草園から見える西蔵王の山々は紅葉が進み、すっかり秋の気配となりました。園内のニシキギやヤマモミジの葉は赤く、カツラやイタヤカエデの葉は黄色く染まり、ここ野草園も紅葉シーズンの到来です。またガマズミやカンボクの木にはたくさんの赤い果実が、コナラやクヌギの木にはたくさんの果実(ドングリ)が付いています。そして園内の「スワンヒルの庭」には紫紅色や白色の花のセンニチコウや黄色い花のヤナギバヒマワリも咲き誇っています。野草園の10月は、樹木の紅葉と木の実、秋の草花が私達の目を楽しませてくれています。是非、ご家族でおいで下さい。

10月中旬～11月上旬の予定

◆【きのこ汁の振舞い】

- 日 時 10/16(日)、23日(日)、30日(日)、11/6(日) 11:00～12:00
- 場 所 自然学習センターピロティ
- 内 容 先着50人に温かいきのこ汁を振る舞います。尚、10/16(日)は先着80人、11/6(日)は先着30人になります。きのこの味をお楽しみ下さい。

◆【焼き芋振る舞い】

- 日 時 10/15(土)、16(日) 11:00～12:00
- 場 所 「クリンソウの谷」東側(中央広場西側)
- 内 容 各日先着100人に小石を使った焼きたてのサツマイモを振る舞います。

◆【第23回 野草園の魅力を探る「写真コンテスト」入賞作品展】

- 日 時 10/8(土)～11/23(水) 9:00～16:30
- 場 所 自然学習センター

◆【四季観察会 ③】 ～紅葉と木の実～ 講師：佐藤 誠二 氏

○日 時 10/19(水) 10:00~12:00 -(昼食)- 13:00~15:00

○場 所 午前中は学習センターに集合し、園外へ。午後は園内の予定です。

○内 容 野草園から三本木沼周辺へ出かけ、紅葉した樹木や樹木の果実などについて学びます。午後は園内を散策します。

○対 象 一般先着20人 参加費：100円(入園料別) ○持ち物 昼食、雨具

○申込み 電話で野草園まで、TEL023-634-4120

◆【木の実のオブジェ作り講座】 講師：野草園職員

○日 時 10/23(日) 10:00~12:00

○場 所 自然学習センター ○内 容 ドングリなどを使ったストラップ作り。

○対 象 一般先着20人 ○参加費 無料(入園料別)

○申込み 電話で野草園まで、TEL023-634-4120

◆【ガーテニング教室】 講師：戎野日出男 氏

○日 時 10/29(土) 10:00~12:00

○場 所 自然学習センターピロティ

○内 容 秋から春まで咲いている花を使ったハンギングバスケット作り

○持ち物 防寒着、エプロン、タオル

○対 象 一般先着20人 参加費 材料代として3,200円(入園料別)

○申込み 電話で野草園まで、TEL023-634-4120

◆【早朝バードウォッチング】 講師：嵐田 稔 氏

○日 時 11/5(土) 6:00~8:00

○場 所 園内

○対 象 一般先着20人 参加費：無料(入園料別)

○持ち物 双眼鏡(野草園でも貸し出します。)

○申込み 電話で野草園まで、TEL023-634-4120

◆【ガイドウォーキング】

○日 時 10/15(土)、16(日)、23(日) 30(日) 11/3(木)、6日(日)

①10:00~11:00 ②11:00~12:00 ③13:00~14:00 ④14:00~15:00

○場 所 野草園内全域

○内 容 ボランティアガイドと一緒に園内を散策します。申し込み不要、その場で参加できます。もちろん無料です。見どころの花の場所に案内し、その花の説明もしてもらえます。

★★★ 10月後半に見られる花と樹木の果実 ★★★



シオン(キク科) 山地のやや湿った所に生える多年草で、本州から九州にかけて分布し、野生のものは稀です。葉は細長い楕円形で対生し、根際から生える葉には長い柄がありますが、上の葉にはほとんど葉柄がありません。頭花は花径が25~35mmほどで、筒状花は黄色く、舌状花は淡い紫色です。茎の割に花が大きく、凛とした姿です。



シュウメイギク(キンポウゲ科) 庭に植えたり、人里近くの林縁などに生える多年草です。古い時代に中国から入ってきた栽培品で中国では秋牡丹といわれているそうです。名は、秋に菊によく似た花をつけることによります。しかし、本種は菊でも牡丹でもなく、英名の「ジャパニーズアネモネ」が示すとおり、秋咲きのアネモネそのものです。



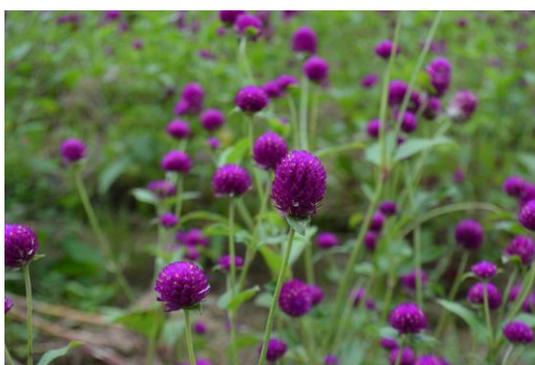
エゾリンドウ(リンドウ科) 福井県以北の山地帯から亜高山帯の草地などに生える多年草。茎の中・上部の葉は対生、まれに3枚輪生します。青紫色の花は茎のさきや葉のわきにつけ、筒状鐘形で5裂します。切り花用に栽培され、さまざまな改良型がみられます。高山型で主として茎頂のみに花をつけるものをエゾオヤマリンドウといいます。



ウメバチソウ(ユキノシタ科) 山地などの湿り気のある日当たりのよい所に生える多年草です。根生葉は長い柄がありますが、中頃の葉は円形または腎形で基部は心形となります。数本の花茎を直立し一枚の葉と一個の花をつけます。花茎につく葉は柄がなく茎を抱きます。花は白色で梅の花に似ています。名は花が梅鉢の紋に似ているからです。



ダイヤモンドソウ(ユキノシタ科) 湿気に富む岩地に生える多年生草本です。葉は長い柄があり腎円形で基部は普通心形となります。裏面は通常白味を帯びますがときに暗紅色のものもあります。掌状に浅く7裂し裂片には粗いきよ歯があります。白色の花を開き花弁は5枚、上の3枚は小さく下の2枚は長く、全体として大の字に似ています。本園では、ロックガーデンに咲いています。



センニチコウ(ヒユ科) 熱帯アメリカ原産の、草丈50cm程の一年草です。茎頂に、直径2~3cmで、松かさを押つぶしたような形の紫紅色や白色の花を咲かせます。花弁に見えるのは、花の付け根に付く苞葉と呼ばれる葉で、花期が長く、色鮮やかなので「千日紅」の名がつけました。本園では「スワンヒルの庭」に植栽しています。



ゴールデンピラミッド(キク科) 和名はヤナギバヒマワリで、北アメリカのネブラスカからテキサス州にいたる地域に分布するそうです。茎が直立して無毛、頂部に多数の葉を互生します。花は、舌状花が多くてレモンイエロー、筒状花は褐色または紫色を帯びています。和名は、花がヒマワリに似て、葉が柳の葉のように見えるからです。



台湾ホトトギス(ユリ科) 沖縄県などの亜熱帯地域の山地や森林の湿った場所に自生し、高さは30~50cmになります。和名は、斑点が入る花を、鳥のホトトギスの胸の模様に見立てたことに由来します。園芸用に品種改良されたものが多く栽培されていますが、本種は台湾ホトトギスと本州・四国・九州に自生するホトトギスの交雑種と思われます。



コスモス(キク科) メキシコ原産で、観賞用として花壇などに植えられる1年草です。茎はまばらで直立し、葉は対生し2回羽状に分裂します。茎の上部に白色、淡紅色、深紅色などの花を開きます。頭花は周辺に8枚の舌状花がならび、これが花色を表し結実せず、中心に黄色の筒状花が多数集まり結実します。コスモスは学名の属名そのままです。



キバナコスモス(キク科) メキシコ原産の一年草。コスモスの1種ですが花色は橙色や黄色などで、草丈は低め、花もコスモスより早い時期から咲き始めます。黄色の花を咲かせるコスモスの仲間なので、キバナコスモス(黄花コスモス)です。大正時代に渡来し、八重咲きで赤花と黄花がある'ブライトライト'、草丈があまり伸びない'サニー'、半八重咲きで緋色の'ディアポロ'などの品種が知られています。



ノコンギク(キク科) 山野のいたるところに普通に見られる多年草で、地下茎をのばしてふえます。茎はよく枝分かれし、短毛が密生し、葉も両面に短毛が生えざらつきます。花は、中心に黄色の筒状花が多数あり、まわりに淡青紫色の舌状花が1列に並びます。特に紫色の濃いものが選別されて、紺菊(ノコンギク)として観賞用に栽培されています。



クサギ (クマツツラ科) の果実

夏に紅紫色の萼と白色の5枚の花弁と長い雄しべの花を咲かせました。今は、萼が濃紅色になり、深裂して星状に開き、中央に藍色の果実を付けています。



ムラサキシキブ (クマツツラ科) の果実

夏に葉の付け根から集散花序をだし、多数の淡紫色の小さな花をつけます。萼は短い鐘形で浅く5裂し、花冠は先が4裂します。今は球形の紫色の果実をたくさん付けています。



カンボク (レンブクソウ科) の果実

初夏に白いガクアジサイのような花を咲かせましたが、今は真っ赤な果実を多数付けています。つぶしてみると強い臭気があります。葉が落ちた後も、春まで残ります。



ガマスミ (レンブクソウ科) の果実

6月に白い小花を散房状につけましたが、今は赤い果実がたくさん付いています。甘さはなく、さわやかな酸味で食用になります。



キタマムシグサ (サトイモ科) の果実

5月に花が咲きますが、花のように見えるのは仏炎苞で緑色、白い筋が入り筒口部は少し曲がって耳状となっています。中にある付属体の下に、雌花には雌花序があります。今はそれが赤い果実の集まりになっています。食べられません。